保護者の皆さまへ

鹿大だより

第10号

KAGOSHIMA UNIVERSITY

◎編集・発行／国立大学法人 鹿児島大学広報センター
〒890-8580 鹿児島市郡元1丁目21番24号 TEL099-285-7035 FAX099-285-3854 E-mail: sbunsho@kuas.kagoshima-u.ac.jp

鹿大の就活最前線

～鹿児島大学の就職支援体制をご紹介します～

最近の学生の就職環境の変化

来春卒業・修了予定の学生の就職活動については、就職活動の早期化に歯止めをかけ、学業に落ち着いて取り組む環境を整えるため、昨年から企業の広報採用活動が従来より2ケ月遅れの12月開始となりました。求人情報の公開や合同・単独の企業説明会・セミナー等も昨年の12月からスタートしましたが、選考開始は従来通り4月からの企業が多かったため、学生達は先輩達に比べて短い準備期間で選考に臨むことになりました。短期決戦となっただけに、12月までの間に、自己理解を深めながら業界・企業研究にきちんと取り組んでいた学生と、準備不足のまま12月を迎えてしまった学生では、その後の選考において大きな差が生じたようです。実際、多くの企業の方から「例年の学生と比べて志望動機が浅く、企業や業界研究が不十分な学生が目立つ」との声も聞かれました。数年前から、就職活動が順調に進む学生と苦戦する学生の2極化が進んでいると言われていますが、その傾向は一段と強まっているようです。

また、ここ数年、全学的に公務員希望者が増えていますが、市町村合併や国家公務員の削減の影響も加わり、採用試験は大変な競争率となっています。最近は益々人物重視で面接試験の比重が高まっていますので、筆記試験の点数が高ければ合格する時代ではなくなりました。公務員希望者は、「自分がなぜ公務員を目指すのか」「公務員としてどんな仕事に取り組みたいのか」を自分に問い、相当の覚悟を決めた上で臨む必要があります。

学内合同企業セミナー

全学的な就職支援イベント

鹿児島大学就職支援センターでは、学部3年生と大学院1年生の就職活動スケジュールに合わせ、7月から翌年1月にかけて計8回の全学就職ガイダンスのほか、少人数の実践的な講座も年数回実施しています。今年7月の第1回就職ガイダンスでは、秋までに準備しておくことやインターンシップを中心に取り上げました。また、9月末には初の企画として、金融や流通、食品など、鹿大生に人気の高い業界の企業の方や内定学生も交え、実践的な研究講座を開催しました。

今後の就職ガイダンスでは、技術系を採用する企業や県内企業の人事担当者を招いてのパネルディスカッション、公務員希望者向けガイダンス、エントリーシートや面接・グループディスカッション対策、就職活動におけるストレス対策などを実施する予定です。さらに、12月以降は学内で大規模な合同・個別の企業セミナーを開催しますが、県内外の参加企業・官公庁の数は年間で3００近くに達します。本学学生を積極的に採用したいという企業・団体ばかりですので、多くの学生の皆さんの参加を期待しています。

もちろん、最終学年の学生に対しても、就職活動見直し講座や九州内の企業による合同就職説明会を開催しており、メールによる求人情報の提供などの支援も続けています（詳細は3頁のコラムもご覧ください）。

就職支援センターの利用について

就職支援センターでは、本学OBの森山道壯氏（みずほ銀行役員ほか歴任）と、ハローワーク鹿児島のジョブサポーター西山元子氏の2人体制で、個別の就職・進路相談も毎日行っています。事前予約制ですが、急ぎの場合にはセンターの専門スタッフが随時対応します。就職活動の進め方や業界・企業研究の方法、自己PR法、提出書類や面接のアドバイス、内定先について等、相談内容は様々です。不安や疑問など、遠慮なく相談してください。週に1回ジョブサポーターによる出張相談を行っている学部もあります（詳細は所属学部または就職支援センターまで）。

センターに届く年間2000件を超える求人の情報は、鹿児島大学就職支援センターホームページの「求人情報検索」から、自宅のPCや携帯電話で検索も可能です（2014年卒業・修了予定者向けの求人情報は12月から公開）。また、センターには様々な書籍や雑誌、DVDはもちろん、公務員採用試験に関する参考書や問題集、先輩学生の就職活動体験報告書も多数揃えています。ぜひ役立ててください。

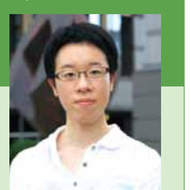
なお、最新の情報はホームページに掲載しています。

《ホームページ・アドレス》
http://shushoku.kuas.kagoshima-u.ac.jp/

個別の進路・就職相談

◎卒業者による体験談（後輩への就活アドバイス）

大木 明子さん
法文学部 法政策学科 卒業
●鹿児島県庁（平成23年4月）



私は公務員と民間企業の両方を視野に入れて就活を開始しました。大学生協が開講している公務員講座を3年生の5月頃から受講し、企業説明会や企業訪問に参加し始めたのは9月頃でした。就職支援センターは、エントリーシートの添削や面接の練習、就活に関する相談などで利用していました。

就活中は、面接がうまくいかなかったり、模試の成績が伸び悩んだりして、精神的に辛いこともたくさんありました。加えて、膨大な量の公務員試験の勉強と、大学の卒論や講義・試験勉強、サークルなどの両立も大変でした。就活は長期にわたるので、自分なりにストレス解消法を見つけることも大事です。私の場合は、公務員講座の仲間や同じ学科・サークルの友人と励まし合ったり、就職支援センターや大学生協の職員の方に話を聞いていただいたりして、ストレスを一人で抱え込まないようにしていました。

また、面接対策は早いうちから時間を見つけて取り組むといいと思います。公務員の場合は特に、面接の時期が重なることも多いので、一次試験が終わってからでは対策に時間を取れない場合もあります。面接当日、自分の力を100%出しきるためにも、「自分が相手に何を伝えたいのか」「自分が今まで何をしてきたか」時間をみつけて考えておくことが大事だと思います。

最後の最後まで何があるか分かりません。就活生のみなさんには最後まで絶対に諦めないで頑張って欲しいです!

◎内定者による体験談（後輩への就活アドバイス）

西依　亮さん
工学部 情報生体システム工学科 4年
●エーザイ株式会社 内定

私は3年生の10月下旬頃から就職活動を開始しました。具体的には、就職支援センターに通って、自己分析や就活に関する疑問をセンターの先生に相談したり、就職支援講座や合同企業説明会、ハローワークの方との面接の練習などにも積極的に参加しました。また、就活を終えた4年生が中心となって後輩の就活を支援する団体「やっど!就活2013」（今年度は「きばっど!就活2014」）にも参加して、私が志望している製薬業界に内定をもらっている先輩から直接話を聞かせてもらって、エントリーシート対策もしてもらいました。

就活中に苦労したことは、まず、移動でした。大阪に就活の活動拠点を置いて、大阪や東京、福岡などの大都市圏を中心に企業説明会や企業訪問に参加していました。移動には夜行バスを利用していたので、長距離移動による疲労は相当なものでした。また、大都市圏の学生に比べて、自分の情報量や発言力の差、スタートの遅れを実感することも多くて辛かったです。そんな時に支えになったのは、親や先輩、大阪でできた就活仲間でした。

就活中は、頼れるものはしっかり頼って、就活に関する活動の場に積極的に足を運ぶこと。大阪や東京など大都市圏に一度足を運んで、就活への意識の高さを実際に感じることもいい刺激になるのではないでしょうか。また、上述の「きばっど!就活2014」には私もサポーターとして参加しています。就活経験者という身近な立場から皆さんをサポートしていきますので、是非参加してください!

鹿大の主な出来事

平成24年 4月～9月

EVENTS IN KAGOSHIMA UNIVERSITY

●日本初記録の魚2種を命名

これまで日本の記録になかったダルマガレイ科の魚が南さつま市笠沙町沖と種子島沖で総合研究博物館研究チームによって採集され、V字状の暗色域があることから、新標準和名「カチドキダルマガレイ」が提唱されました。また、フィリピンが分布の北限と考えられていたヒメジ科の魚も県内で21個体採集され、茜色の体色に因み、新標準和名「アカネヒメジ」が命名されました。

●ピア・サポートワークショップ「教えて先輩!! 語ろう会」

鹿ナビ（カーナビ）のワークショップの様子

鹿児島大学ピア・サポート「鹿ナビ（カーナビ）」主催のワークショップ「教えて先輩!! 語ろう会」が、6月11日、開かれました。ピア・サポートは上級生が下級生の抱える問題などを支援する学生サポーター制度で、1年生ら約30名が参加しました。1年生は上級生から授業や試験、大学生としての勉強の仕方などについて教えてもらい、学生同士和やかな雰囲気の中で語らいました。

●共同獣医学部設置記念 特別講演会及び記念式典を開催

「鹿児島大学共同獣医学部設置記念特別講演会及び記念式典」が学内外から関係者約300名の出席のもと6月23日、開催されました。本学9番目の学部であり、また、山口大学と全国初の共同教育課程を実施する同学部の設置を記念したものです。山口大学とインターネット中継を用いた同時講演会や県内外の有識者を招いた式典など、新学部に対する期待が多いに語られました。

●かごしまルネッサンスアカデミー焼酎マイスター養成コース開講式

「かごしまルネッサンスアカデミー焼酎マイスター養成コース」の開講式を開催し、第1期生30名と関係者が出席しました。焼酎に特化した1年にわたるプログラムで、受講生は学内外の27名の講師から焼酎の文化、基礎、製造過程などを学び、「焼酎マイスター」を目指します。

●「南さつま市健康長寿のまちづくり推進事業に関する連携協定」を締結

締結後、握手を交わす本坊市長（左）と吉田学長

南さつま市と鹿児島大学は、「南さつま市健康長寿のまちづくり推進事業に関する連携協定」を7月27日締結しました。南さつま市は健康で長生きできる環境を作り、市民の健康を守るために「健康長寿のまちづくり推進事業」を実施することとなり、本学に専門的分野の協力要請があったことから、今回の協定締結に至りました。今後は、協議会を設置して具体的な取り組みを行っていきます。

●第10回公開講座夏休み体験学習「放射線ってどんなもの?」を開催

自然科学教育研究支援センター アイソトープ実験施設は、8月2日、夏休み体験学習「放射線ってどんなもの?」を開催しました。子供たちが、自然放射線、放射線の性質などの理解を深めるための講話と実験・調査を行いました。小中学生21名と保護者13名が参加。実験の合間に質問が出るなど、参加者放射線に対する関心の高さがうかがえました。

●「子ども霞ヶ関見学デー」で科学・理科体験教室を開催

理科実験を楽しむ子どもたち

鹿児島大学は「子ども霞ヶ関見学デー」に参加し、8月8日、9日の両日、文部科学省で科学・理科体験教室を開催しました。理科実験を体験してみよう!～おじゃったもんせ～鹿児島大学へ～」をテーマに、理工学研究科の教員と学生が「せっけんを作ろう」「酵素の働きを見てみよう」などの5つの理科実験を行いました。2日間でのべ120人の子どもたちが実験を楽しみました。

●「かごしま丸」ハワイ西方海域を実習航海

水産学部附属練習船「かごしま丸」は、8月10日に谷山港で出航式を行い、ハワイ西方海域における実習航海に出発しました。かごしま丸には水産学部3・4年生の、女子8名を含む23名が乗り込みました。

約2ケ月に及ぶ航海では、延（はえ）縄漁業や海洋観測など学部講義で学んだ知識をもとに実践し、9月25日に谷山港に戻ってきました。マグロの延縄漁では100匹近く釣れ、充実した実習ができました。

谷山港に帰ってきた学生のみなさん

●教育学部技術科「楽しい夏休みものづくり教室」

教育学部技術科は、8月22日、「楽しい夏休みものづくり教室」を開催し、小・中学生26人が参加しました。小学生向けには「ザリガニロボットを作って遊ぼう」、中学生向けには「FMワイヤレスマイクをつくろう」、「空き缶でジャンピング・スターリングエンジンカーを作ろう」を用意しました。参加者は技術科の教員や学生の指導を受けながらものづくりを楽しみました。

●学長一行によるブラジル訪問

鹿児島大学による3回目のブラジル訪問が8月17日～8月29日に実施されました。訪問団は吉田浩己学長、前田芳實研究担当理事ほか2名でした。サンパウロのイピランエラ公園内にある開拓先没者慰霊碑の参拝をはじめ、鹿児島県人会、当大学OBとの意見交換会、アマゾナス連邦農業大学訪問などブラジルでの学生の海外研修の持続やブラジルの教員との学術・共同研究の可能性を探りました。今後の南米における交流・連携を推進するための有意義な機会となりました。

◎留学だより

農学部 生物生産学科4年生
西羽田 美郷さん
韓国 江原大学校留学（平成23年3月～平成24年2月）

留学のきっかけは、所属している研究室の先生から、江原大学校に日本人留学生を受け入れる話があると持ちかけられたことでした。もともと海外に行ってみたかった私はすぐに留学を決めました。

江原大学校は、江原道春川市にある4年制の国立大学で、18学部と大学院、特殊大学院を擁する総合大学です。私は農業生命科学大学（学部に相当）の農業資源経済学科に所属し、韓国の農業について学びました。

留学までの準備期間が短かかったため、韓国語の勉強はほとんどできず、留学した当初は英語とジェスチャーで会話していました。平日は語学院に通い、休日は教会の語学教室に通って勉強しました。また、研究室には日本に留学経験のある学生が多く、親切にサポートしてくれました。講義は学生による発表が中心で、私も前期と後期に1回ずつ発表する機会があり、1回目の発表ではたどたどしかった韓国語も、2回目には新しく来た日本人留学生を引っ張って発表できるまでになっていました。

この留学を通して、韓国語が話せるようになったこと以外に、言語や文化の違いはあっても意思の疎通ができること、海外に生涯の友をもてたこと、韓国語での発表の経験などから度胸がついたこと、分からないことがあるからこそ楽しいと思えるようになったことなど、たくさん得るものがありました。

留学を考えている学生のみなさんには、機会があるなら、とりあえず行ってみることをお勧めします。留学を決意するだけでも成長につながると思います。留学先では積極的に人との交流を持って楽しんでください。きっと素敵な出会いと体験が待っていると思います。

民俗衣装に身を包んで友人と（右が西羽田さん）

課外活動実績（平成24年4月～9月）　COLUMN

●弓道部
・西日本学生弓道選手県大会
男子 最優秀射技校／最多的中賞 後藤佑介さん（理学部2年）／女子 優勝
・全九州学生弓道選手権大会　男子 二位／女子 二位／最優秀射技校

●バレーボール部（男子）
・第62回九州地区大学体育大会 第2位

●陸上競技部
・第82回九州学生対校選手権大会
男子円盤投げ 3位　濱田正信さん（農学研究科1年）
女子200m 優勝　岩坪由紀さん（教育学部4年）
・鹿児島県選手権大会
男子4×100mR 優勝　麓大輔さん（教育学部3年）、吉田圭佑さん（工学部3年）、鳥海祥郎さん（歯学部6年）、西方竜太郎さん（教育学研究科2年）／
男子4×400mR 優勝　安徳裕介さん（教育学部4年）、鳥海祥郎さん、中村太樹さん（工学部3年）、倉津怜也さん（教育学研究科2年）
・第67回九州陸上競技選手権大会
男子走り高跳び 優勝（日本インカレA標準突破並びに日本選手権B標準突破）
久島貴大さん（農学部3年）／男子円盤投げ 3位　濱田正信さん

●サッカー部
・第38回鹿児島県学生サッカーリーグ（平成24年前期） 優勝

●硬式野球部
・2012年度鹿児島県大学野球新人戦 優勝
新人賞　折田喜久さん（教育学部1年）

●第44回全日本歯科学生総合体育大会
・バレーボール部門　男子団体優勝／男女総合準優勝
・陸上競技部門　男子200m 優勝（歯学体新記録）　鳥海祥朗さん

MORE INFORMATION

最新の情報は鹿児島大学ホームページをご覧ください。「イン フォメーション」・「トピックス」など、常時更新しております。また広報誌「鹿大ジャーナル」もHP内で閲覧できます。

鹿児島大学広報誌
『鹿大ジャーナル』

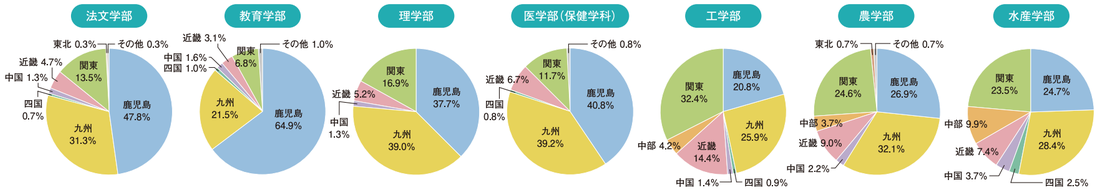
鹿児島大学のホームページ
http://www.kagoshima-u.ac.jp

◎鹿大祭（11月15～19日）、桜ケ丘祭（11月24・25日）が開催されます。

◎鹿児島大学ブランド商品

鹿大ブランド焼酎は農学部附属演習林のわき水を使った「きばいやんせ」「春秋謳歌」「焼酎学講座開発の酵母による「天翔宙」の3種類、十津川農場の「ねじめびわ茶」と「びわ丸」は農学部との共同研究製品です。県内各所で販売中。

●平成23年度学部卒業者の地区別等就職状況　（平成24年5月1日現在）



●学部別過去5ヵ年の就職率

	法文学部	教育学部	理学部	医学部（保健学科）	工学部	農学部	水産学部	全学部
19年度	92.2%	88.4%	97.7%	100.0%	96.9%	97.6%	97.9%	94.6%
20年度	94.3%	79.3%	88.5%	97.3%	97.1%	93.7%	94.7%	92.1%
21年度	91.9%	84.2%	93.8%	99.2%	95.2%	95.6%	93.8%	92.5%
22年度	87.1%	93.2%	94.3%	96.8%	98.4%	95.6%	92.9%	93.1%
23年度	87.4%	94.1%	88.5%	100.0%	96.4%	88.7%	92.0%	92.0%

●平成23年度国家試験等合格率一覧

	全体			新卒者			既卒者		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
医師	101名	91名	90.1%	92名	88名	95.7%	9名	3名	33.3%
歯科医師	62名	50名	80.6%	50名	46名	92.0%	12名	4名	33.3%
獣医師	31名	30名	96.8%	29名	29名	100.0%	2名	1名	50.0%
保健師	92名	88名	95.7%	89名	88名	98.9%	3名	0名	0.0%
助産師	11名	11名	100.0%	10名	10名	100.0%	1名	1名	100.0%
看護師	79名	79名	100.0%	79名	79名	100.0%	—	—	—
理学療法士	24名	20名	83.3%	22名	19名	86.4%	2名	1名	50.0%
作業療法士	21名	18名	85.7%	18名	17名	94.4%	3名	1名	33.3%

●平成23年度学部卒業者の主な就職先

◎法文学部
- 鹿児島大学
- トータルハウジング
- 旭化成
- 読売新聞社
- 西日本旅客鉄道（JR西日本）
- コスモス薬品
- 健康家族
- 鹿児島銀行
- 宮崎銀行
- 東京海上日動火災保険
- 岩崎産業
- JTB九州
- 鹿児島市社会福祉協議会
- 郵便局
- 公正取引委員会
- 鹿児島県
- 鹿児島市
- 鹿児島県警察
- 鹿児島県公立中学・高校（教員）

◎教育学部
- 鹿児島県公立学校
- 鹿児島県私立学校
- 鹿児島県内幼稚園
- 福岡県公立学校
- 福岡県私立学校
- 熊本県公立学校
- 長崎県公立学校
- 宮崎県公立学校
- 関東地区公立学校
- 近畿地区公立学校
- 鹿児島県警察
- 鹿児島市
- 鹿児島市消防局
- 鹿児島県社会福祉事業団
- 郵便局
- 鹿児島銀行
- てまひま堂
- 三菱UFJインフォメーションテクノロジー
- 全日本空輸（ANA）
- 三菱電機

◎理学部
- 鹿児島大学
- 大和ハウス工業
- 南日本銀行
- SJI
- 鹿児島銀行
- エイ・イー・エス
- 鹿児島相互信用金庫
- 富士通鹿児島インフォネット
- 化学及血清療法研究所
- 協和発酵キリン
- 南日本新聞社
- 再春館製薬所
- 熊本製粉
- 鹿児島県公立中学校
- 鹿児島県公立高校
- 防衛省
- 鹿児島県
- 宮崎県
- 霧島市

◎医学部（保健学科）
- 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院
- 国家公務員共済組合連合会浜の町病院
- 東京大学医学部附属病院
- 国立成育医療研究センター
- 京都大学医学部附属病院
- 福岡大学病院
- 九州大学病院
- 福岡赤十字病院
- 長崎大学病院
- 熊本赤十字病院
- 愛育病院
- 鹿児島医療生活協同組合
- 三宅病院
- 今給黎総合病院
- 福田病院
- 堺市
- 鹿児島県
- 鹿児島市立病院
- 人吉市
- さつま町役場

◎工学部
- 九電工
- NTTファシリティーズ九州
- 積水ハウス
- 清水建設
- 京セラ
- 川崎重工業
- キヤノン
- 日立コンピュータ機器
- 三菱電機
- ソニー
- 日本電気（NEC）
- 富士電機
- マツダ
- 本田技研
- NTTドコモ
- 富士通アドバンストエンジニアリング
- 熊本放送（RKK）
- 南日本情報処理センター
- 日立システムソリューションズ
- 九州旅客鉄道（JR九州）
- 南国殖産
- 鹿児島銀行
- トヨタ車体研究所
- 鹿児島県警察
- 鹿児島県

◎農学部
- 大和ハウス工業
- 山野井
- 日本澱粉工業
- フェスティバロ社
- 霧島酒造
- 日本たばこ産業（JT）
- 中国木材
- 大塚製薬
- 住友化学システムサービス
- 南国殖産
- JA全農ミートフーズ
- 鹿児島銀行
- 鹿児島県農業共済組合連合会（NOSAI連鹿児島）
- 化学及血清療法研究所
- アレフ動物病院
- 全国農業協同組合連合会
- 福岡県
- 鹿児島県
- 姫路市
- 鹿屋農業高校

◎水産学部
- かごしま豊かな海づくり協会
- ノースイ
- 極洋
- 林兼産業
- 日本水産
- ジャパンシーフーズ
- 築地魚市場
- うおいち
- マックスバリュ九州
- 兼松食品
- 大東魚類
- 水研
- ベニレイ
- 横浜冷凍
- 高田魚市場
- 日本海洋生物研究所
- 大隅地区養鰻漁業協同組合
- 香川県漁業協同組合連合会
- 指宿市
- 山口県

COLUMN　進路未定の来春卒業予定者の保護者の皆様へ

秋も深まり、来春卒業予定の学生にとっては、卒業論文・研究等で忙しい日々が続いていることと思います。一方で、依然として厳しい就職環境が続く中、卒業後の進路が決まらず、不安なお気持ちの保護者の方もいらっしゃるのではないでしょうか。

鹿児島大学就職支援センターでは、最終学年で就職を希望する学生に対し、求職登録を勧めています。職種や業種、就職先地域等の希望条件とメールアドレスを登録しておくと、センターに届く求人のうち、本人の希望に沿った求人情報がメールで配信されるというものです。

なお、昨年度センターで受け付けた年間求人数のうち、2割超は10月以降に届いています。自宅のパソコンや携帯電話を使って、下記アドレスのホームページ「在学生・卒業生専用求人検索」から、最新の求人情報を検索・確認することもできますが、情報を逃さないためにも求職登録をお勧めします（その他、各学部受付けの求人については、所属学部の学生係までお問い合わせください）。

過去の卒業生の例からも、今後の就職活動次第で卒業までに内定を獲得することは十分可能です。ぜひ前向きに活動を続けるようご助言いただければと思います。また、就職や進路について悩みや不安があれば、どんな事でも遠慮なくセンターに相談することを勧めていただきますようお願い申し上げます。

《求人情報検索》
http://shushoku.kuas.kagoshima-u.ac.jp/con_kyujinlogin.php

Clubs　サークル紹介

探検部　好奇心の赴くまま全力投球

探検部は好奇心とガッツ、遊び心のある人にぴったりのサークルで、男子17名、女子5名の計22名で活動しています。

主な活動は「面白いと思うことがあれば、何でも全力投球する」をモットーに、全国の地下へと続く洞窟の世界や3,000m級の山々などを探検しています。毎週火曜日に部会を開き、練習や合宿に関する資料の作成や審議を行って、知識や安全性の向上に取り組みます。週末にロッククライミングや川下り、ケイビング（洞窟探検）などを日帰りもしくはテント泊をして実践で練習し、それをいかして春と夏の長期休暇には「種子島たたら製鉄合宿」「奄美シーカヤック合宿」「大金峰洞ケイビング合宿」など多くの合宿を行います。また九州各地の探検部が集まる交流会「九探連」にも参加し、交流の輪を広げています。

鹿児島はもちろん国内外問わず、魅力的なフィールドがたくさんあります。これからも好奇心の赴くまま探検をしていきたいです。

熊本県五木村の九折瀬洞の洞口でケービング合宿

法学研究会　毎週土曜日無料法律相談を実施

法学研究会は、法学について自由に討論し、研究を深めるためのサークルです。現在、男子23名、女子8名の計31名で活動しています。

主な活動内容として、1年生を対象に憲法・民法・刑法を教える学習会を週2回と一般市民を対象とした無料法律相談が毎週土曜日にあります。また、夏季休暇中に地方に赴き無料法律相談を行う出張無料法律相談も行っています。さらに、年2回の春と夏に行う合宿では学生同士の交流を深めています。

今年の目標は、法律討論会（全日本学生法律討論会及び九州瀬戸内学生法律討論会）で入賞することです。

法学研究会と聞くと堅苦しいイメージがありますが、部内は和やかな雰囲気で、和気あいあいと活動しています。季節ごとの各種コンパなどのイベントもあり、勉強と遊びを両立できるサークルです。

無料法律相談の様子

平成23年度 学部卒業者の就職・進路状況

学部卒業者の就職・進路状況の主なデータをご紹介します。最終的な就職先は毎年5月1日現在でデータを収集しております。就職支援センターのホームページ（http://shushoku.kuas.kagoshima-u.ac.jp/）には「学部別就職先」など、より詳しい情報も掲載しておりますので、合わせてご覧ください。

●平成23年度学部卒業者の就職・進路状況内訳（学科・課程・性別）（平成24年5月1日現在）

	学科・課程	性別	卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職率(%)	進学者数	その他
法文学部	法政策学科	男	55	41	40	97.6	1	13
		女	42	32	31	96.9	2	8
	経済情報学科	男	82	68	56	82.4	3	11
		女	75	67	62	92.5	2	6
	人文学科	男	34	25	19	76.0	6	3
		女	128	107	89	83.2	5	16
	小計	男	171	134	115	85.8	10	27
		女	245	206	182	88.3	9	30
教育学部	学校教育教員養成課程	男	114	82	77	93.9	14	18
		女	95	73	68	93.2	6	16
	特別支援教育教員養成課程	男	5	3	3	100.0	1	1
		女	8	7	6	85.7	—	1
	養護学校教員養成課程	男	1	1	1	100.0	—	—
		女	—	—	—	—	—	—
	生涯教育総合課程	男	16	10	10	100.0	3	3
		女	30	27	26	96.3	—	3
	小計	男	136	96	91	94.8	18	22
		女	133	107	100	93.5	6	20
理学部	数理情報科学科	男	31	13	12	92.3	14	4
		女	8	4	4	100.0	2	2
	物理科学科	男	30	13	10	76.9	15	2
		女	5	3	2	66.7	2	—
	生命化学科	男	21	8	8	100.0	9	4
		女	25	16	15	93.8	8	1
	地球環境科学科	男	24	11	7	63.6	10	3
		女	25	19	19	100.0	5	1
	小計	男	106	45	37	82.2	48	13
		女	63	42	40	95.2	17	4
医学部	保健学科	男	33	29	29	100.0	2	2
		女	98	91	91	100.0	1	6
	小計	男	33	29	29	100.0	2	2
		女	98	91	91	100.0	1	6
工学部	機械工学科	男	95	48	48	100.0	47	—
		女	3	—	—	—	3	—
	電気電子工学科	男	75	20	20	100.0	48	7
		女	7	7	7	100.0	—	—
	建築学科	男	42	22	21	95.5	18	2
		女	21	14	14	100.0	7	—
	応用化学工学科	男	47	13	12	92.3	28	6
		女	15	5	5	100.0	9	1
	海洋土木工学科	男	46	30	30	100.0	15	1
		女	8	2	1	50.0	4	2
	情報工学科	男	49	24	22	91.7	24	1
		女	7	3	3	100.0	4	—
	生体工学科	男	42	24	21	87.5	17	1
		女	23	12	12	100.0	10	1
	小計	男	396	181	174	96.1	197	18
		女	84	43	42	97.7	37	4
農学部	生物生産学科	男	44	28	22	78.6	11	5
		女	35	25	18	72.0	5	5
	生物資源化学科	男	31	11	10	90.9	19	1
		女	28	20	19	95.0	5	3
	生物環境学科	男	51	30	28	93.3	17	4
		女	18	10	10	100.0	4	4
	獣医学科	男	19	19	19	100.0	—	—
		女	10	8	8	100.0	2	—
	小計	男	145	88	79	89.8	47	10
		女	91	63	55	87.3	16	12
水産学部	水産学科	男	89	51	45	88.2	27	11
		女	42	33	32	97.0	9	—
	水産教員養成課程	男	9	3	3	100.0	—	6
		女	1	1	1	100.0	—	—
	小計	男	98	54	48	88.9	27	17
		女	43	34	33	97.1	9	—
合計		男	1085	627	573	91.4	349	109
		女	757	586	543	92.7	95	76
		計	1842	1213	1116	92.0	444	185

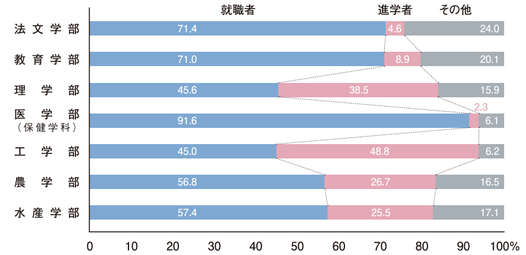
（注）①医（医学科）・歯学部を除く。②9月卒業生を含む。③「その他」は、外国への留学者、専門学校への入学者、研究生・科目等履修生、公務員・教員採用試験受験希望者、進路不明者等。

●平成23年度学部卒業者の就職・進路状況　（平成24年5月1日現在）

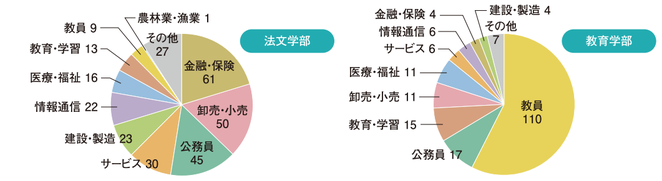
平成23年度卒業者数（人）		法文学部	教育学部	理学部	医学部（保健学科）	工学部	農学部	水産学部	合計
		416	269	169	131	480	236	141	1842
就職状況	就職希望者数（人）	340	203	87	120	224	151	88	1213
	就職者数（人）	297	191	77	120	216	134	81	1116
	業種別就職者数（人）：農林業・漁業	1	—	—	—	—	3	2	6
	建設・製造	23	4	14	—	107	34	19	201
	情報通信	22	6	9	—	26	4	1	68
	卸売・小売	50	11	6	—	11	12	25	115
	金融・保険	61	4	5	—	5	11	3	89
	医療・福祉	16	11	2	111	1	3	3	147
	教育・学習	13	15	3	—	2	3	2	38
	サービス	30	6	11	—	22	29	10	108
	公務員	45	17	14	9	30	24	7	146
	教員	9	110	8	—	—	3	1	131
	上記以外の業種	27	7	5	—	12	8	8	67
	就職率(%)	87.4	94.1	88.5	100.0	96.4	88.7	92.0	92.0
進学	進学者数（人）	19	24	65	3	234	63	36	444
その他（注）	その他（人）	57	42	17	8	22	22	17	185

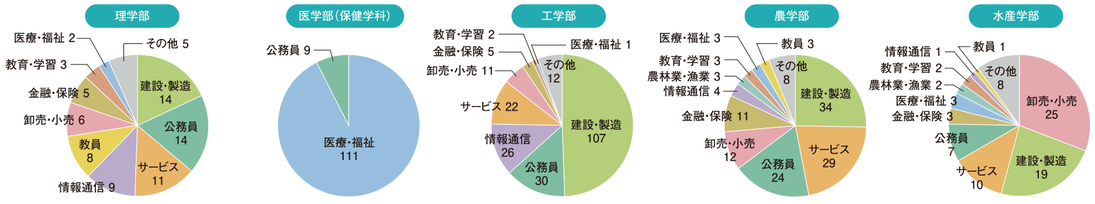
（注）①医（医学科）・歯学部を除く。②9月卒業生を含む。③「その他」は、外国への留学者、専門学校への入学者、研究生・科目等履修生、公務員・教員採用試験受験希望者、進路不明者等。

●平成23年度学部卒業者の就職・進路状況（グラフ）　（平成24年5月1日現在）



●平成23年度学部卒業者の学部別・産業分類別就職状況（単位：人）　（平成24年5月1日現在）





◎先生インタビュー　TEACHER'S INTERVIEW

海中に棲む魚類など海洋生物の資源量を推定し管理を行う

水産学部水産学科 助教　庄野 宏

筑波大学大学院修了。博士（システムズ・マネジメント）。2011年3月着任。

専門は水産資源解析学、海中に棲む魚類など海洋生物資源の、評価・管理を行います。商業船による漁獲データや漁獲物の体長組成、調査船による漁獲効率などの情報をもとに、様々な統計手法や数理モデル、コンピューターを駆使して資源（主に魚）の絶対量推定を行い、適正な漁獲量を算出して将来予測に基づいた資源管理を行うことを目的としています。

水産資源解析学は水産学の中でも特殊な分野で、実験や乗船が少なく孤立しがちなので、他の分野との連携を積極的に考えています。授業では、水産学に必要な道具としての数学や統計学および数理資源学を中心に教えています。科目の性質上、学生本人の理解を促すため、パワーポイントなどのスライドを極力使用せず、黒板に書いて説明しています。また、抽象的な理論の説明は必要最小限にとどめて、具体別な事例を紹介しながら、実際にどのような場面で役立つかを教えるようにしています。

真面目で努力家な学生が多い反面、自発的に何かに取り組むという姿勢があまり見られないように思います。共同研究の関連で企業の方と話す機会がありますが、職種に関わらず会社側は学生に求めるスキルとして、データ解析の能力と語学力（主に英語）です。ゼミではプリーンの統計パッケージンRを利用してスキルアップの実践的な訓練をしています。語学はまず聞く力を身につけることから始めることを勧めます。

低学年のうちから真剣に自分の将来像について考えながら行動して欲しいと思います。

進路を見すえて、大学生活を謳歌しよう

法文学部法政策学科 准教授　上原 大祐

広島大学大学院社会科学研究科博士課程後期単位取得後退学。法学修士。2011年4月着任。

ゼミの演習や課題研究では、最高裁を主として、最新の判例研究を行っています。発表者が担当の判例に関して分析・報告し、その後、全員で討論を行うという形を採っています。判例という膨大な情報の中からテーマを選ぶ能力と、相手が言いたいことを読み取る能力を培うことを目的としています。また、司会者も学生に割り振り、進行を任せています。これも今年度から取り入れたことですが、学生主体の発言が増えました。

また、法文学部法政策学科では「法政策学科履修ガイド」を作成し配布しています。法政策学科の学生の主なキャリアデザイン（法曹や公務員、民間企業等）毎に履修モデルが掲載されていますので、学生は1年次から進路を考えて講義を選ぶことが可能です。大学の4年間は長いようで短いものです。時間を無駄にしないように、学生時代にしかできないことをやって欲しいと思います。

主な研究テーマは「刑事責任と人格の同一性」です。解離性同一性障害など精神障害を患う被告人の刑事責任能力判断について研究しています。法学と医学の両面に関わり、日本では研究者も少ない分野であり、アメリカの判例などを中心に研究しています。

鹿大に赴任して2年目、講義やゼミは前年の経験をいかして工夫しています。講義では、出欠票に分からなかったことや質問などを書く欄を設けました。次の講義の冒頭に質問への回答・解説コメントを渡しています。真面目な学生は、さらに質問に来